

海環審第6-3号
令和6年8月9日

海老名市長 内野 優 殿



海老名市環境審議会
会長 氏家 康太



家庭系ごみの一部有料化・戸別収集制度の検証について（答申）

令和6年2月1日付け海環発第946-3号をもって諮問のありました標記の件について、令和6年8月9日開催の海老名市環境審議会において審議した結果を下記のとおり答申します。

記

1 審議内容

家庭系ごみの一部有料化・戸別収集制度の検証について

2 審議結果

原案どおり異議なし

【概要】

項目	専門部会における判断
1 附帯決議事項	事務局の取組みはおおむね的確になされた
2 指定収集袋	手数料及びサイズ展開は現状維持とし、バラ売りを導入
3 有料化品目	燃やせるごみは現状維持し、燃やせないごみの品目を追加
4 収集方法	燃やせるごみの戸別収集を継続し、燃やせないごみ及び資源物各種の戸別収集や隔週収集について研究を進める
5 資源物	剪定枝の効果的な収集方法を検討
6 減免制度	配布枚数及び配布方法を見直す
7 支援制度	脱炭素社会の実現を目指した生ごみ処理機の補助を検討
8 その他の取組み	集合住宅への支援、高齢者支援など新たな制度を検討

【詳細】

1 附帯決議事項

有料化・戸別収集制度を開始するにあたり、海老名市議会から出された附帯決議について、事務局の取組みはおおむね的確になされています。

引き続き課題とした項目については、今後も継続して対策を講じてください。

2 指定収集袋

(1) 手数料

先進自治体の統計から、最もごみの減量化効果が期待できる手数料水準を採用しており、ごみの減量化に成功しているため現状維持が妥当と考えます。

(2) サイズ

市民アンケートを実施した結果、現在のサイズ展開に満足している声が過半数を占めていたことから、現状維持が妥当と考えます。

(3) 素材

二酸化炭素排出量抑制など、既存の製品以上に環境面へ配慮した素材の研究

を進め、適宜変更していくことを要望します。

(4) 燃やせるごみ・燃やせないごみ共通袋

適正排出の妨げとなる恐れがあるため、導入は適正ではないと判断します。

(5) 販売方法

現在は10枚ないし5枚1セットでの販売となっておりますが、1枚単位でのバラ売りを導入することで、市民の利便性向上及びレジ袋の削減に効果があります。

3 有料化品目

(1) 燃やせるごみ

ごみの減量化の観点から、無料品目を追加せず現状維持が望ましいと思われ
ます。

(2) 燃やせないごみ

資源物として収集している品目の中で、実際には資源化できていない品目の
一部を燃やせないごみへ変更する必要があります。

ただし、対象品目は慎重に検討し、市民が混乱しないよう周知することを要
望します。

4 収集方法

(1) 燃やせるごみ

排出者責任の明確化によるごみの減量化を図るため、戸別収集を継続するこ
とが妥当であると考えます。

(2) 燃やせないごみ・資源物各種

ごみ集積所で収集している一部品目の戸別収集や隔週収集化など、コスト面
と市民の利便性とを比較しながら慎重に検討する必要があります。

5 資源物

剪定枝の資源化量を増やす取組みとして、申請方法の見直しや排出条件の緩和を検討していただきたいです。

6 減免制度

減免対象世帯のごみ減量化意識を高めるため、指定収集袋の配布方法や配布枚数を見直す必要があります。

7 支援制度

生ごみは唯一自家処理できる廃棄物であるため、生ごみ処理機の普及を進めることは燃やせるごみの減量化に効果的であります。引き続き生ごみ処理機購入費用の助成を行い、ごみ減量化の啓発に努めていただきたいです。

また、今後は脱炭素社会の実現のため、非電動式生ごみ処理機の普及率を向上させるための取組みが重要であると考えます。

8 その他の取組み

集積所を適正に維持管理している集合住宅を表彰する制度など、ごみの減量化や集積所の適正管理に効果が期待できる施策を積極的に採用してください。

また、ごみ出しが困難な高齢者の問題は社会全体の問題でもあるため、適宜福祉部局と協力して支援を充実させることを要望します。